



会報

昭和61年前期号 NO. 26



社団法人 全国建設機械器具リース業協会

Denyo

先進のテクノロジー デンヨーのパワーソース

エンジン発電機

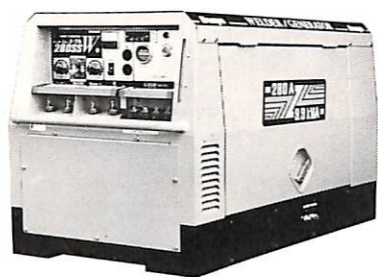
0.5~750kVA



DCA-25SPI

エンジン溶接機

100~650A



BLW-280SSW

エンジンコンプレッサー

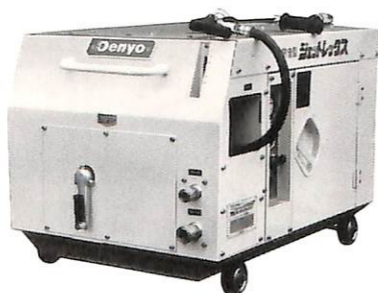
1.4~21.2m³/min



DPS-750SS

エンジン高圧水ポンプ

50~210kgf/cm²



ACJ-530SS

光と熱と力の可能性を追求して38年。
豊富な技術と経験で、
「多用途・高信頼性」に自信をもってお応えします。



本社 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL (389)3111

支店・営業所

札幌営業所011(862)1221 仙台営業所0222(86)2511 北関東営業所0272(51)1931 東京支店03(552)1201 横浜営業所045(774)0321
静岡営業所0542(61)3259 名古屋営業所052(935)0621 金沢営業所0762(91)1231 大阪支店06(488)7131 高松営業所08787(4)3301
広島営業所082(255)6601 福岡営業所092(503)3553 出張所/全国主要39都市

—— 巻頭言 ——

様々な競争秩序を追求出来る弾力的な体質の培養により新たな社会ニーズに挑戦する産業としての、国際的産業構造の激流に吞まれてしまうことなく対応と自助努力により求められています。

こうした現況を直視して(社)全建リース協は着々と重要テーマの結実に向けて歩みを続けています。

① 可搬形発電機整備技術者の養成と円滑なる運用の徹底は第2年度を迎え、大きな業績となりつつあります。

② 厚生年金基金設立準備委員会は「業界独自の厚生年金基金」の設立の大目標に向けて、会員各位の圧倒的多数の早期加入により、厚生大臣の設立認可の必須条件を満すべく成功を期しております。

③ 登録制度対策委員会(仮称)は建設省より基本的構想が打ち出され、愈々協会の使命も日増しに重且大を加えて参りました。本年度の目的は、建設機械器具賃貸業の振興とユーザー(建設業者)の利便を通じて、建設機械化の効率的な推進を図ることにあります。新年度より、新委員会により、年度内に諸準備を整えるべく、

会報第26号 目次

可搬講習会制度の改訂について	2
神奈川建り協の法人化について	3
建機賃貸業の問題点と解決策	4
協会誌事録	7
協会の活動	10
委員会の運営について	11
海外交流・ニュージーランドより	12
地区だより	15
支部名簿	29
編集後記	30



(社)全国建設機械器具リース業協会
会長 坂井 熙

東京サミット86は、予期せざる局面に向っての結幕となりました。幸いに先進諸国の首脳を迎えて、テロ・妨害等の不祥事による国威失速の事もなく、極度の警戒のうち平穩に終りましたが、一層の円高ドル安が昂進するに至り、内需拡大の即効性施策展開が強く要望されることとなりました。

日本の国家財政再建の現状からも公共投資の拡大は容易な事ではなく、吾々建設関連産業も一段と厳しい環境が続くものと覚悟し、更に今後に来るべき変革に対応すべく鋭意企業経営の本質について再点検を行い、経営資源特に人材の育成と低成長時代に於ける堅実経営を貫く諸策の整備が必要と思います。

(社)全建リース協も愈々中小企業近代化計画構造改善事業第3年度に突入し、本格的業界の総力を結集して経営改善と社会的地位の確保に邁進すべきであります。

過般発表されました建設産業ビジョン研究会の「活力ある挑戦的産業を目指して—21世紀への建設産業ビジョン」報告書にもあります如く、規模の経済性、競争原理の利点等を同時に享受出来

諸般の審議が行われることとなりました。

(社)全建リース協は近代化計画推進の構造改善事業を業界総結集により着実に実施し、集約化による合理的運営を積極的に推進し、目先の少康に

案ずることなく国際化社会の競争にも耐え、恒久的発展を実現する業界の創造に向い、会員各自が努力を重ねて栄光の日を迎えたく祈念致しておりますので、今後も一層のご協力をお願いします。

可搬形発電機整備技術者講習会 制度の改訂について

1. まえがき

建設産業界に於ける機器賃貸の活用度は年々伸展を辿り、大手建設業は勿論のこと中小建設業にあっては、リース機への依存度は65%以上に達するといわれており、特に其の中の可搬形発電機においては、供用比率80%を超えており、我々建設機械器具賃貸業界に課せられた責任は一層重要性を増して参りました。

社団法人、全国建設機械器具リース業協会は加盟会員企業の近代化を促進するために、建設大臣承認による構造改善5ヶ年計画の諸事業を推進中であり、その事業の一環として可搬形発電機の保全自主管理体制の確立を目的とする「可搬形発電機整備技術者講習会制度」を設定し、昭和60年度におきまして約2,000名の認定技術者を育成することが出来ました。この間通商産業省資源エネルギー庁公益事業部長によるところの通牒60資公部192号(建設工事現場における移動用電気工作物の取扱いについて)が告示されるに及び可搬形発電機保全運用の義務付等、行政管理下に組みこまれたことにより社会的使命は一段と高くなりました。

2. 通牒への対応

従って本通牒に示された法の平等化に適應するためには、可搬形発電機の保全運用上必要な条件

として定められた認定、資格を得るための受講希望者に対する適用範囲を拡大し、非会員にもその受講の機会を均等に与えることとし、もって本通牒の周知徹底を企り関係諸官庁の負託に応えることとなりました。当協会が認定する可搬形発電機の品質、性能、安全等を確保するため、当協会が定めた基準により、日常保守点検、整備、管理業務に従事する者として、統一した技能の向上を図り、関係諸法令に定められた保守整備運用業務等の円滑化をはからねばなりません。

3. 会員、非会員の取扱い

法の平等化を期する為、受講の機会均等を励行する訳であります。当協会加盟会員と非会員の取扱いについて異なるものは下記の通りであります。

1. 非会員の受講料は¥40,000とします。(会員¥30,000)
2. 定期点検済証(ステッカー)のデザインは既存の全建リース協のものとは別途とし、賠償保険の対象から除外する。頒布単価を600円とします。(会員400円)
3. 非会員の受講資格は、認定委員会に於て、厳重な資格審査を行い過去に除名退会処分等を受けた企業の受講希望者は事前に排除する。
4. 非会員の受講合格者には所定の手続きによ

り「可搬形発電機整備技術者資格証」を供与するが、企業認定書は授与しない。

5. 定期点検済証(ステッカー)の申込みは各支部を経由するものとし、其の他諸手続等に

ついては可搬形発電機整備技術者講習会制度に関する規程及び細則に準拠する。

6. 将来入会の意志がある非会員については、加盟促進を企る。

神奈川県建り協の法人化について

地域活動の活性化を企るため、かねて申請中であった神奈川県建設機械リース業協会(会長・中村憲)に対し、去る61年1月23日付を以って長洲神奈川県知事より民法第34条の規定により社団法人が許可されました。法人格については一業種一団体が規定されているので、(社)全建リース協が現在実施中である、中小企業近代化促進法に基く構造改善5ヶ年計画の諸事業とは直接関係のない事業活動を実施して行く訳で、今後の動向が注目されるところでありますが、同協会発足に当り、全建リース協坂井会長より本件についてのコメントが発表されましたので、ここに記載いたします。

発足にのぞみて

(社)全国建設機械器具リース業協会が、建設産業界に於ける役割の重要性を認められて昭和57年10月建設大臣より、中小企業近代化促進法に基く特定業種として指定され、昭和59年4月・構造改善5ヶ年計画の承認を得て、諸事業に着手致し、本年3月末をもって2年目が終了致しますが、かようにして当協会が総力を挙げて、構造改善諸事業に取り組んでいる最中に、神奈川県支部(神奈川県建設機械リース業協会)に於いて、別途、ローカルのメリットを求められ、神奈川県知事の認可による、社団法人化を図られた次第でありま

すが、ご存知のように(社)全国建設機械器具リース業協会は建設大臣専管による全国同業者企業会員による組織構成の下、主務官庁のご指導により、近代化を推進中の唯一の公認団体でありますので、今回、神奈川県知事より認可を得られた(社)神奈川県建設機械リース業協会とは、その構成員は同じであっても、異質のものであります。

従って、(社)全国建設機械器具リース業協会が、目下、実施中の構造改善事業推進に伴う、行政指導並びに各種の特典は、従来の当協会神奈川県支部会員として、存置されることにより適用を受ける事になりますので、この点、誤解混同なき様、充分、ご理解頂きたいと存じます。

この度、建設省におかれて『活力ある挑戦的な産業をめざして』という副題のついた『21世紀への建設産業ビジョン』が発表されましたが、それによると今後の建設業を考えると、最大の問題は需要が伸びないことであり、極めて厳しい環境下にあります折から、“建設機械器具賃貸業”として、初めての試みである神奈川県知事認可の社団法人発足に臨み、業界の実情を、充分ご認識賜り、会員各位の協調自覚により設立趣旨に向かい、発展を期し邁進されん事を切にお祈り申し上げます。 昭和61年3月10日

社団法人 全国建設機械器具リース業協会
会長 坂井 照

建設機械器具賃貸業に係る 問題点と解決策の方向について

当業界は建設関連業種であります。日本標準産業分類に於ては「大分類L-サービス業」であり細分類7222建設機械器具賃貸業となっております。従って、当協会の近代化計画に中小企業庁の深いかわりがあるのもこのためであります。

我が国のサービス業は経済の拡大、産業構造の変化、個人所得の増大、生活様式の変化等により、国民経済に大きなウェイトを占めるにいたっています。

このような、サービス経済化の進展の中で、国民福祉の要請、消費者及び事業所等での需要の拡大、深化等、サービス産業の役割はますます重要となっております。

しかし、一般に中小サービス業界の組織化、近代化等は他産業に比較して遅れている上、その存立環境は大資本系企業の進出、他産業からの新規参入等による競争の激化に加え、消費及び需要構造の変化や技術革新への対応が迫られている等多数の問題点を抱えています。そこで、全国中小企

業団体中央会（中小企業事業団外郭団体）では中小サービス業が抱えている諸問題の解明・解決策の方向等を検討し、中小サービス業の健全な発展と今後の施策等への反映を図るため、政府指定事業としてサービス業関係組合懇談会を開催しております。

本年度は、建設機械器具賃貸業について実施し、その概要を報告書にとりまとめたものの中から特に注目すべき「業界の問題点」と「その解決策の方向等」についてここに抜粋いたしましたので、各項目にわたり比較検討の上、参考資料にして下さい。

記

懇談会の概要

- (1) 対象業界団体名 (社)全国建設機械器具リース業協会 (2) 期日 昭和60年10月1日(火)
(3) 場所 中小企業情報化促進協会第1会議室
(4) 出席者 学識経験者6名、業界関係者9名(本部副会長他) 中小企業庁サービス業振興室3名

業界の問題点	問題点等の解決策の方向等
<p>業界の問題点としては次の事項が指摘された。 (競争上の問題点)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レンタル費においてはゼネコン関係が主な取引先となっているため、同業者間のダンピングが激しくなっている。 2. 近年、同業者間における店舗展開により競争が激化するとともに、大手商社、メーカーが新規参入意欲を示しており、これへの対応が必要となっている。 <p>(経済環境の問題点)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 営業活動は繁忙期、閑散期の格差が大きく、 	<p>左記の問題点について本懇談会で検討したが、委員より提言された主な意見は次のとおりであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後とも当該業界は全体的に仕事量は増加する。新規業者の参入はあまりないと思われる。しかし過剰設備、過当競争が問題と思われる。今後特定の機械、地域、企業別等の専門化が進むものと思われる。 2. 多店舗展開も進み規模競争が行われた後業界の整理がなされ、安定して行くのではなかろうか。

閑散期においては安値受注となり、その安値は繁忙期に及んでいる。

2. 公共事業の低迷している現在、機械器具が過剰保有となり、稼働率の低下を示し経営圧迫要因となっている。

(経営上の問題点)

1. 当該事業は一般的なサービス業(賃貸業)の営業活動に加え、機械器具の整備点検業務が付加されていること及び建設機械に高価なものが多いためを併せて考えるとその経営規模は極めて小規模零細である。

2. 企業間格差が増々増大する恐れがある。

3. 賃貸業において資金需要の大きな部分を占める設備計画及びこの作成基礎となる受注計画を作成している企業は、全体の45%程度と低く経営計画の不備等が多く、また、職務権限が明確になっていない。

4. 売上高伸率の鈍化に伴う収益性の悪化。

5. 大きな設備投資と過少な自己資本が賃貸業界の特性となっており、安全性の諸指標の悪化傾向となっている。

6. 販売業、修理業等の兼業をかなりの企業が行っているが、兼業している各部門別の原価管理がなされていない企業も多い。

7. 大型機械については価格が高価なこともあって、更新が思うようにできず、機械の老朽化が進んでいる。そのため安全管理上も問題がある。

8. 機械器具の整備点検を計画的に実施するシステムの確立が必要となっている。

9. 営業活動に直結する修理工場やモータープールのような主要施設を保有していない企業が相当数あり、保有している企業においても6割は狭く、不十分な状態にある。また、主要施設においては振動の発生源として公害問題を抱え、立地条件上の制約も多い。

10. 賃貸料金の回収は、手形割合が5割弱と高く

3. 差別化戦略が今後必要である。大手と小企業との違いを明確にし、特に小規模企業においては小回り性の強さを活かしていくことが大切である。差別化の具体例としては機械の使い方及び修理方法等のマニュアル作成等の方法もある。

4. 製造業、サービス業における小集団化活動を通じ雇用・人材の育成等を行う必要がある。

5. 組合等を通じ共同受注及び窓口の一本化を図り、適正価格の維持に努めることが大切である。

6. 構造改善事業には多数の企業参加が必要であり、そのためにはメリットを与える必要がある。補修点検事業の集約化、モータープールの設置、修理工場等の共同化等の構造改善を如何に成功させるかが課題である。それには協同組合の組織化が重要である。

7. 小規模零細性を当該業界では問題としているが、小規模零細企業でなければ出来ない分野があるという考えを持つ必要がある。

8. 閑散期は料金が安く改善したいという考えは改め、市場メカニズムを理解し、安くなるのが当然であるという考えの発想が必要である。

9. 当業界では、コンピューター業界、レンタカー業界、OAのメンテナンスサービス等の価格のメカニズム、農機具業界と農協、タクシー業界の個人でありながらトータル化している状況等を研究して、ソフトの戦略を立てることが必要となっている。

10. 中小リース業はファイナンスではなく、コンビニエンスではないかという発想に変える必要があり、ハードとファイナンスではないソフトで如何に戦略を立てるかが大切である。そのためユーザーの声を聞くことが大切である。

- 手形サイトも90日以上と長期化している。
(労務管理上の問題点)
1. 従業員が不足している企業が約半数あり、特に整備員及び営業員の不足は深刻となっている。
 2. 労務計画を立てている企業も少なく、一部大手を除き縁故、知人を頼った募集となっており新卒者の雇用が少ない。
 3. 顧客の要請により賃貸機械を現場へ始業前に搬入し、また契約終了後搬出するため所定外労働時間が常習化している。
 4. 計画的に技能実習訓練を実施している企業が極めて少なく、また整備技能士等整備関係の技能士の保有割合も低い。
 5. 従業員の福利・厚生対策については、社宅、寮、更衣室等の施設は一定水準にあるが体育・保養等のレクリエーション施設の設置はわずかであり、公的制度の利用が遅れている。
 6. 労働災害の発生率が極めて高くなっており、人的損傷及びその補償問題、企業の信用問題等経営上重大な問題となっている。
- (その他)
- 受注契約の締結方法はメモ、口頭によるものが60%にも達しており、契約内容が明確となっていないため顧客とのトラブル発生等の要因となっている。
19. 情報のネットワーク化に大手リース業界では対応しており、中小企業のリース業界も対応が必要である。そのためには明年度中小企業庁で予算化を予定しているので、情報ネットワーク策定事業の助成金等を受け取組むこ

11. 当業界は供用機械器具に対し高度化資金が使用できないとなっているが、協同組合化により共同事業等行う場合工場設備だけでなく、供用機械器具等も高度化資金融資の対象になるよう努力して行きたい。
12. 専門機械の使い方等の点で他業界であるシステムハウス、情報処理サービス業等では製造業とみなして取組んでいるところもある。今後当業界のあり方を考える場合、研究する必要がある。
13. 倒産防止共済制度は1件3,200万円まで貸付できるので、経営安定のため活用してもらいたい。
14. 支部構成員の経営ないし人員教育の徹底を図る必要がある。特に情報管理等を基本として行うことが大切である。
15. 適正レンタル料金については、適正原価計算の導入により委員会を設置し検討する必要がある。
16. 大手参入問題においては、内部外部において秩序ある競争体制を確立する必要がある。そのためには内部の秩序を確立し、その後大企業等へ対象を拡大して行く必要がある。
17. 需要の開拓は、機械の利用(ソフト面)研究に留意するとともに規模別すみ分けを行い、需要の研究を行うことが必要である。
18. 経営全体、規模の零細発想の展開等については、各委員会を設置して専門家による検討を行い、業界活性化に努める必要がある。とも大切である。
20. 大企業の進出により大きな影響を受ける場合、分野調整法を活用し、都道府県を通じ申出(団体)した時、国等で調整するシステムとなっているので研究する必要がある。

協会議事録

常任理事会

日時 昭和61年4月10日(木)14:00~16:40
場所 全建リース協 会議室
出席 坂井会長, 中村・阿部・小俣・野口・佐川副会長, 松田専務理事, 木村常務理事, 福山・志茂・松尾・大島・橋本・石井・深尾常任理事, 小林参与

議事

1) 登録制度について

3月31日建設省における登録制度に関する会議に出席された、坂井会長及び松田専務理事等より主旨の説明があった。

まず、会長より下図によるスケジュール等について概要の説明ならびに心得、要望等があった。

登録対策委員会(仮称)スケジュール概要

6 1 年		6 2 年		
4月	12月	3月	5月	9月
委員 ← 検討 →	検 討 完了	告 示	講 習・テ ス ト	発 効
会 発 足		← システム 普 及 →	← 準備期間 → (6ヶ月)	

(1) 要 旨

- この制度は、62年9月に発効する。○告示後6ヶ月間の準備期間をおくことになる。
- 4月に委員会を発足させなければならない。
- 委員会の構成は10~12名とする。○構

成メンバーは、次のとおりとなろう。……建設省3(機械課1, 振興課2), 委員長1(学識者), 建設業2(建設機械化協会建設業部会等), 当協会4, 計10名(その他事務局)○従って本日の常任理事会で、協会側4名の有力メンバーの編成をする。○エキスパートで精力的に活動してくれる人で編成したい。○地質, 建コン, 測量より後発であるが質的に向上させたい。○天下り式でなく、協会の皆さんで制度化するよう建設省からも要望があった。これを踏まえて、制度の本質を理解の上、盛上がる力で運用していきたい。○構成, 近代化計画の達成, 各委員会, とくに可発委の成果等内容, 質のよい協会で結論をスグに出せるなど高く評価されているのでそれなりの人選をしたい。○対策委員会では機種追加等を始め種々決めてもらうことになる。

上述に対し補足的に小俣副会長・松田専務理事より、次の説明があった。○昭和62年5月にテストを行って、第1回の合格者の発表と同時に告示されることになるだろう。○建設機械器具賃貸業界を代表して当協会会員より4名の委員を選出する。○委員は、大所、高所、全国的視野にたつて、全建リース協を母体として検討してくれることを要望する。○委員としては、前の委員会の段階ではほとんどの部分が検討されているので、管理者試験制度を作ることに集中することになるとおもわれる。

○登録制度, 創設の目的は,

1 建設機械器具賃貸業の振興

2 ユーザー（建設業者）の利便

3 建設機械化の効率的な推進 であっ

て、登録の諸条件については、別紙配布資料のとおりなので参考とされたい。○その他委員の要件などあったが、結果的に4名（他に1名）を建設省に推薦することになった。但し、委員は実務有能者を選びオーナーに限ることはない。

(2) 質疑応答

Q：足切れされる会員のためにならないので制度をやめろ、と言うのと、もっと厳しくして質的向上を図れという意見があるが。

A：登録制度について、官側主体であるが、我々業界の制度を作る上で協会が参画しなければ、杓子定規に決められるおそれもあり、管理技術者試験制度についても、協会が直接タッチしていなければ不都合の点もあり、今後本制度による業界育成指導の面で協会側に有利な展開が企まれる。足切りされる等として反対したら将来共、登録制度は抹消されることが予想される。

Q：兼業率などの制限はないか。

A：ありません。5パーセントでも10パーセントでもレンタルしていても要件さえ揃ってればアウトサイダーでも登録できる。むしろ、経験年数と技術者等で絞ることを考えたい。

Q：登録できない会員はどうするのか。

A：登録しなくても営業はできるが、資本の増資、協同組合の設立参加などの方法を講じて登録ができるようになるのがベターである。登録要件（たとえば資本金額）について既に報告の線が確定的である。又、登録申請は随時とする。

Q：管理技術者の試験制度は、リース業だけに課せられたのではないか。

A：建設関連業団体（4）中、リース・レンタル業丈が取残されている。リース・レンタル業は建設省としてもこれでは駄目と言うものがないので、新たに試験制度をつくることになり、その運用を全建リース協に委ねられた。

Q：登録した業者が事故を起こした場合、保険に入っているからよいというのではなく、登録取消しのような罰則は考えられるか。

A：建設業登録、建コン登録業者は指名停止ということはあるが、登録取消しは聞いたことがないのでその辺ではないか（課題として残し検討することになる）。

Q：委員会の事務局はどこに置くのか、調査委員会みたいなものなら費用はどうなるのか、期間はいつまで。

A：事務局は協会におく、費用等は定かではないが当協会が本事業の主体となるので協会負担となろう。本委員会の任期は一応、告示までと考えられる。なお、制度が発効すれば届出、チェック等の代行をするようになると思われるが、いづれにしろ本制度の対象は建設業界全般におよぼすもので、責任は重大である。

○以上により協会側委員候補者（推薦者）4名（ほか事務局1名）の選出をすることとなった。出席者の広い視野から見た推薦者を決定し、後日、本人の了承を得て建設省に推薦委員名簿を提出することとなった。（注）結果、4月22日下記名簿を建設省に提出した。なお、委員長には、庄政志氏（成城大学法学部教授、建設機械器具賃貸業分科会会長）となることの内定している。

記

（単位不同）

氏名	支部	所 属	役 職
岡部 広和	東京	三光機械リース㈱	レンタル事業部長
		〒108 港区高輪1-5-8	☎(443)3281
新田 四郎	" "	産業リーシング㈱	常務取締役(営業)
		〒101 千代田区三崎町1-3-12	☎(295)7511
真宅 康博	" "	真弥機業㈱	代表取締役
		〒101 千代田区神田和泉町1-1	☎(861)4457
紫田 貞夫	" "	物仲成電機工業	常務取締役
		〒133 江戸川区篠崎町6-142	☎(670)1504

なお、建設業者代表委員として平田成氏（鹿島建設）、藤川俊介氏（大成建設）が内定した。

2) 可発委員会功労者の表彰について

可発の成果は賞賛に値する、この際功労あった方々を表彰してはどうかとの提言があり、全員賛成した。表彰者は、可発委（支部も含む）の推薦で総務委で決定し第13回定期総会において表彰することとなった。

3) 事務局長について

第35回理事会にて事務局長の増員については承認済みであり、人選についても事務局一任の承認を得ているので、配布履歴書のとおり「桑原重夫」氏を採用したい。氏は、可発委の副委員長兼認定専門部会主査である。現在、建設機械産業㈱に大成建設㈱より出向中である。従って本人及び大成建設の承諾を得て向う5ヶ年間は年俸不足額分を大成建設が負担し、昇給なしで大成建設の定年（60才）までの契約とした。それ以降は、協会と本人との直接雇用関係となる等説明があった。なお、事務局長はじめ事務局の職務文掌等の質疑応答後採用について全員賛成、第13回総会準備、登録制度の幹事役等があるので、5月1日より勤務することに決定した。

4) 役員の推薦について

可発委の玉井氏より辞任の申出があったが、玉井氏（常任理事）に限らず今年は役員の改選

のときである。従って、新役員を総会までに推薦候補者（内定者）として決めなければならない。可発委員としては改選ではないが他に代わる人が居れば、玉川委員に拘らず編成変えも考えられる。従って来期は役員を始め全体的見直しをすることになる。将来を考えて活性化出来る人が役を引受けてほしい。支部からの役員推薦は、5月中旬までに本部に報告されたい、追って本部より各支部宛に新役員推薦依頼状を差上げるのでそれに記入して提出願いたい旨説明し了承された。

5) その他

(1) 仮設リース協について

Q：仮設リース専門業者は、全建リース協の中にあっても取扱い機種の関係で仲間意識が薄いと思われており、仮設リース協に傾いていると思われるとの意見があった。

A：仮設リース協要人より、全建リース協に吸収の話が来ているので、仮設リース協と話し合いをする。

(2) その他

構造改善事業の活性化を企る為に業種の変更（日本標準産業分類のサービス業より建設業への移行）促進、中小企業事業団等の低利高度化資金の運用の特典確保等、今後の課題として積極的に取り組むべきである旨の提言があった。

(3) 報告事項

4月11日、ニュージーランドのハイヤー協会9社の社長、管理部長等役員が来協され意見交換をすることになったので当協会側から12名出席のうえ会議をもつことになった。当協会も、昭和53年に山内会長以下25名がニュージーランド、ハイヤー協会を往訪し歓迎されたことがあるので、その返礼として、

（誌面の都合により30頁にづさく）

- 6.0.1.2.9 労働省労働基準監督署伊藤審議官を可免の件で訪問(松田専務理事)
- 11 建設省山形事務所訪問、全建リース協の現状説明
- 12 内閣府可免認定委員会に出席(於・東京郵便貯金会館、松田専務理事)
- 16 可免委員会及び可免諮問委員会開催(於・池の端文化センター)
- 17 登録制度打合せ委員会開催(於・全建リース協)
- 25 厚生年金基金制度受託者会議開催(於・全建リース協)
- 26 建設省、通産省、中小企業庁、労働省他訪問(坂井会長、松田専務理事)
- 6.1.1.7 新年挨拶のため建設省、通産省資源エネルギー庁、中小企業庁、東京通産局、中小企業国庫、労働省、日本建設機械化協会、日本電機工業会、内閣府電力設備協会、大成建設、鹿島建設、西松建設、清水建設、中小企業事業団、中央会館訪問(松田専務理事、木村常務理事)
- 11 駒イマギレ川工場地落成式に出席(松田専務理事)
- 13 仮設工業会訪問、登録制度に關し(松田専務理事)
- 14 全建リース協顧問(安井、古賀、坂野、井上、三塚諸先生)に新年挨拶のため、参議院議員会館を訪問(坂井会長、松田専務理事)
- 建専協(33団体)新年賀詞交換会に出席(坂井会長)
- 20 神田税務署を訪問(中沢顧問会計士、小保秘書委員長、松田専務理事)
- 24 可免委員会開催(於・全建リース協)
- 東京支部、賀詞交換会に出席(坂井会長)
- 2.3 建設省振興課へ登録制度につき訪問(松田専務理事)
- 4 日本建設機械化協会リース、レンタル部会に出席(木村常務理事)
- 5 厚生年金基金制度打合せ(於・全建リース協)坂井会長、松田専務理事、総監事会社等
- 6 通産省資源エネルギー庁、通産運用につき訪問(松田専務理事、桑原委員)
- 14 大手参入対策小委員会開催(於・全建リース協、坂井、佐川、今木、松田)
- 17 可免小委員会開催(於・全建リース協、三塚、玉井、桑原、松田委員)
- 24 メーカー商社との懇話会打合せ(於・全建リース協、三塚、今木、松田)
- 25 登録制度、建設案委員(鹿島建設、大成建設)との打合せ(松田専務理事)
- 26 可免委員会開催(於・全建リース協)
- 建設省建設振興課訪問(登録制度について、坂井会長、小保秘書委員長、松田専務理事)
- 27 建設省建設機械課建設振興課訪問(神奈川法人化について、坂井会長、松田専務理事)
- 27 構造改善事業に係る現地調査(於・中国支部、建設省建設振興課、坂田係長)
- 28
- 3.4 登録制度小委員会開催(於・全建リース協)
- メーカー商社との懇話会開催(於・池の端文化センター)
- 7 可免委員会及び可免諮問委員会開催(於・全建リース協)
- 13 可免小委員会開催(於・全建リース協)
- 14 第35回理事会開催(於・池の端文化センター)
- 第2回厚生年金基金設定準備委員会開催(同上)
- 19 建専協定例懇談会に出席、坂井会長、松田専務理事(於・震災合同庁舎)
- 建設省中小企業近代化審議会分科会(構造改善計画)に出席、坂井委員他(於・難町会館)
- 26 建設省建設振興課リース協会、設立祝賀会に出席(坂井会長)
- 27 建設省中小企業近代化中央審議会に出席(坂井会長)
- 31 大成建設機械部部長来訪(桑原氏出向の件)
- 建設省建設振興課(登録制度指針)訪問(坂井会長、小保秘書委員長、松田専務理事)
- 4.2 可免小委員会開催(於・全建リース協)
- 大成建設訪問、社員出向の件(松田専務理事)
- 3 受託者会議
- 4 日本建設機械化協会リース、レンタル部会に出席(木村常務)
- 6 信和リース新工場落成式に出席(木村常務)
- 8 東京通産局訪問(桑原、松田可免委員)
- 10 常任理事会議(於・全建リース協、登録制度)
- 11 ニュージャパンハイヤー協会一行来訪(ミーティング終了後後草三定に於て懇談会開催)
- 14 可免諮問委員会(於・全建リース協、講師団と可免技術担当委員)
- 15 通産省資源エネルギー庁、東京通産局通産打合せ(松田専務理事)
- 17 産業シリーズ御訪問(登録制度委員の件、松田専務理事)
- 21 厚生年金制度募集活動に係る受託者(8社)との打合せ(於・全建リース協)
- 顧問故安井先生葬儀に出席(木村常務理事)
- 22 昭和60年度の決算書の会計監査のため、中沢顧問会計士来訪。
- 30 東京通産局を訪問(新電機協議会改訂に係る件、松田専務理事)
- 建設省建設振興課、野田補佐来訪(登録制度)

「委員会の運営について」

専務理事
松田寛司

1. 委員会運営の現状

全建リース協の諸事業を推進する各委員会の委員は、原則として、全国各地域の会員の取まとめ機関である各支部協会より選出された役員(理事、監事)とこれに準ずる参与等より推薦され、其の委員の中から委員長が指名されています。

又、必要に応じて一般会員より人材を選び、役員会に於て参与として認め、諸計画に参画願っております。

全建リース協事務局としては職員中より担当を定めて事業推進の軸としております。

可免委員会にあつては、当初一般会員中より有識者を委嘱し参与として本委員会の副委員長兼専門部会主査等に任命されて活躍され、本事業を成功に導かれた実績等はご存知の通りであります。

協会活動は加盟会員の奉仕精神に基づくものでありますが、それにも自づから限界があります。それだけに役員各位の平素のご苦労とご努力には心より敬意を表しております。

2. 委員会運営対策

“可搬形発電機整備技術者講習会制度”の達成は、当協会員の英知と団結による総力が遺憾なく発揮され、今日、協会の内外に於て高い評価を受けております。

このたびの建設省による建設機械器具賃貸業登録制度の創設に關しても、前述の可免における当協会の成果があつたればこそ、本計画の作成主務団体として今日まで作業が進められていることは一応評価に値すると存じます。本計画の対象範囲は広く建設産業界全般に亘るものであり、それだけに我々の責務は極めて重大であります。

建設省が示された登録制度の目的とは、

1. 建設機械器具賃貸業の振興
2. ユーザー(建設業者)の利便
3. 建設機械化の効率的な推進

とされていますが、同時に当協会の構造改善計画にも強い連繋があり、他面では建設省研究部会の発表による“21世紀における建設産業へのビジョンについて”にも係り合いを持っていることに留意しなければなりません。

かかる重要な案件等逐次、消化するための委員会活動が望まれる訳でありますので、委員選出には充分配慮を要します。それから事業活動の中軸となる事務局の戦力培養も企らなければなりません。これについては、ご理解を得て第35回理事会に於て、新事務局長の採用を可決されましたので感謝しております。

更に登録制度の制定ともなれば、それに係る届出、申請業務等の代行機関として協会に委嘱される案があり、さすれば、専従者の準備が必要となります。

今後全建リース協は建設省による構造改善事業、登録制度による管理技術者養成事業、通産省による可搬形発電機整備技術者制度の拡大事業、厚生省による厚生年金基金制度、其の他流通大手参入調査活動等、諸事業は増加を辿り、公益事業収益もコンスタントに見込まれることとなりますので、委員会の運営についてはバランスよく調整を図り適切な運営が望まれる次第であります。

ここ数年来の協会活動活性化により、建設産業界に及ぼすウェイトは一段と高くなり寄せられる期待も増大して参りました。

会員におかれては、流動する協会活動に對し、より一層の深いご理解により絶大なるご支援をお願い申し上げます。

arimitsu

近代土木工事作業の
ハイパワー援軍。




グリーン(レイダンス)カット、岩盤洗浄、水圧テスト用

用途は無限の
パワフル高圧洗浄機

大小標準116種類に
余るバラエティにと
んだ機種を揃えてい
ます。

0.25~220kW
0~1,000kgf/cm²

創業以来64年、さあ未来へ躍進する

有光工業株式会社

本社：〒537 大阪市東成区深江北2丁目3-21 ☎06(973)2020
 東京営業所：〒101 東京都千代田区神田錦町47番地 ☎03(254)0855
 福岡営業所：〒818 福岡県筑紫野市上古賀278の1 ☎092(925)7696
 仙台営業所：〒983 仙台市福田町4丁目14-14 ☎0222(59)4093
 営業所：札幌・大宮・松本

あちこちの工事現場で見かける、この顔、このマーク

ニュージーランドハイヤーサービス 協会一行来訪

J.L.A.会議室で熱心にミーティング



4月10日、K. B. ストロング氏（協会秘書役）を団長とするニュージーランドハイヤーサービス協会の視察団の一行（会員8社、家族を含め17名）が来日、全建リース協会とのミーティング、富士重工（大宮プラント）の視察、名古屋でのレンタル業者との懇談後、長野を回って4月19日離日した。

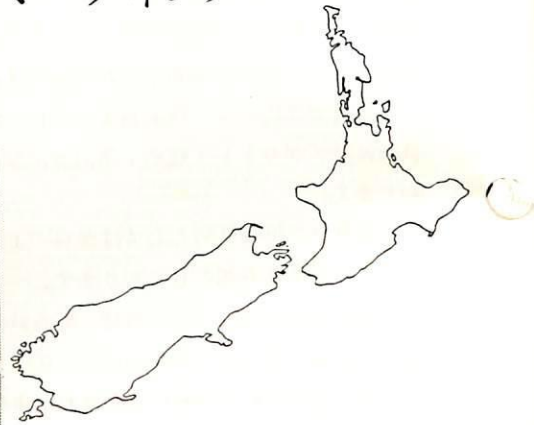
本件については、昨秋ストロング氏より問合せがあって以来、当協会松田専務理事との間に再三に涉って日程やミーティングの内容について打合せが行われた後実現されたもので、ニュージーランド側では帰国後、日本の協会の手厚い歓迎と、予期以上のミーティングが得られたことについて、深い感謝が寄せられている。

全建リース協とのミーティングは11日10時より協会会議室で、ニュージーランド側9名、日本側10名が出席して行われた。会議は両国メンバーの紹介の後、坂井会長の「私共J. L. A. 会員

がオセアニア研修旅行を行った際、貴協会の方々からご親切にいただき心から感謝するとともに、再会できたこととお喜び致します。また、皆様と懇談できますことは極めて有意義に思います」



開会の挨拶・坂井会長



と歓迎の挨拶に続いて、ストロング氏（写真）より「日本のレンタル業の代表の方々と交流でき、大変嬉しく思っています。ニュージーランドの人口は現在、約325万人で、皆さんが訪問された'78年頃に比べ非常に発展し、協会も強力になっている。会員数は現在80社で、殆んどが小企業（従業員2～3名）ですが、組織率は約90%を占め強い協会になっている。是非もう一度来て頂きたい」と挨拶があって、この後質疑に入った。

ミーティング内容

Q1 J. L. A. はどのようにビジネス上の指導をしているか。又、メンバーはどんな仕事を分担しているか。

A1 主務官庁（建設省）と会員企業のパイプ役として、官側の行政指導に対応し会員に諸情報の伝達を行なうと共に会員側の要望、意見、具申等を行い、加盟会社の近代化を促進し、当協会の発展を通じ、建設機械器具賃貸業の経営基盤の確立と社会的地位の向上に努めている。メンバーは協会の会則に則り、全国20団体（支部）の中から有能な会員を選び構成委員会を開催して、内定した事項を理事会、総会等で審議、裁決を図り、決定したものは、各支部に伝達して、円滑なる協会の運営を行っている。

Q2 どの型の機器がJ. L. A. のメンバーによってリースされているか。又、機器のリースは会社向けか、個人向けか。

A2 主として建設機械器具（建設土木建築用）のリース・レンタルを行っており、日本の建築業界で稼働している機器の60%以上は我々業界の供用機器である。尚、一部には一般作業用機械リースの専門業者もある。又、少数ではあるが、一般家庭を対象として、レジ

出席者

・ニュージーランド
マックス・ラザフォード氏（ハイヤーマスター・ニュープリムス社社長）、ラッセル・ミスコール氏（ハイヤーマスター・ニュープリムス社管理部長）、トム・アトキンス氏（マッケンズ・ハイヤーサービス社社長）、トレバー・タフネル氏（タフネルハイヤー社社長）、クレム・ロールズ氏（ネビヤ・ハイヤーセンター社社長）、ベリー・ロバートソン氏（ハイヤーサービス社専務）、トム・ディ氏（テ・キューティ社社長）、ピーター・ローレンス氏（アート・デイビス社社長）、カルビン・ストロング氏（ニュージーランドハイヤーサービス協会秘書）

・日本

〔全建リース協〕

坂井 照会長、小俣 實副会長、松田寛司専務理事、木村春樹常務理事

〔新東京リース協〕

三瓶徳司副会長、福山 勝副会長、松尾 茂副会長、小林鈴夫理事、大島公夫理事、関口 正一郎専務理事

〔通訳ご協力〕

新明和工業(株) 国際営業本部輸出部 柴田教行部長代理、川上嘉之氏

ャー用品、電化製品、カメラ及び集合用の備品等、各種の器具を、フランチャイズ方式で、リース・レンタルを行っている企業もある。

本項に関して日本側の質問に対しニュージーランド側より次の様な説明があった。取扱商品には60%が建設機械、40%がレジャー用品、日用品等で多種多様である。協会は定期的に会合（年3回）を開き、内1回は展示会である。機械については日本製が多く、耐久力もあり、優れている。価格協定は法律で禁じられているが、1部地域を除き、協会・メンバーはうまくやって

いる。稼働率は平均50%位で、60%以上稼働する機種は新たに導入する。投下資本に対する回転率は1.5倍位、年平均純利益率は20%位。騒音に対し日本のような規制はないが、中心地では音を立ててはいけないとの議会の申合せがある。日本製の低騒音型を使って喜ばれている。メンテナンスは自社でやるが、日本製は英・米製より優れており、機械自体の故障は殆んどない。ただ消耗部品が無くて困っている。発電機の場合、安全基準(2重絶縁)に合致しないものがある等々の答があった。

Q3 J. L. A. は1988年フィジーで開催予定の太平洋地区大会(リース・レンタル)に参加するかどうか。

A3 当協会の理事会で決定する事項であり、今結論は申し上げられないが、よく事情を聞き、前向きに対処したいと思う。

懇親会開催

ミーティング終了後、同伴のご婦人方と合流、浅草雷門の天ぶら屋「三定」で懇親会が開かれた。



小林理事の音頭で乾杯

坂井会長、ストロング代表のテーブルスピーチの後、小林理事の「老舗・三定」の解説付乾杯の音頭で会食に入ったが、外人の皆さんも器用に箸をあやつり、設営の心配事であった刺身等も結構楽しんでる様子で、言葉の壁を乗り越え和気あいあい心の通った楽しいパーティを終了した。

尚、当日ミーティングに於いて、難解な建設機械やリース・レンタルの質疑について通訳のご協力をいただきました新明和工業㈱の柴田部長代理及び川上氏に深く御礼申し上げます。

ニュージーランドより工業視察団

酒井重工業㈱のニュージーランドに於ける代理店・コンパクトینگ イクイップメント社の主催による工業視察団の一行18名が4月8日より3日間ミュンヘンでパウマ建機展を見学した後4月14日来日、4月17日、2グループに分れて、同社東京工場と、技術研究所を見学した。団員の中には先年協会にも立ち寄り、㈱オマタ土産機商會戸田支店・工場を見学されたエアール・ハイヤーサービスのゼネラルマネージャー、コーリン・クルックス氏も参加されており、一行は4月19日離日した。



酒井重工業技術研究所にて

←地区だより

群馬県建設機械リース業協会

当協会の役員、理事で構成する市場調査委員会(委員長金子善三郎氏、委員増淵孝氏)により、群馬県内の建機リース市況価格調査を実施、実態を把握した上で、貸出料金の原価計算、貸出適正価格を割出し委員会としての原案を理事会に提出、理事会に於て審議、協会指針正価表として、協会名で、建設機械賃貸正価表を作成、会員に配布、県内ユーザーに配布し、建設機械のリース料金を正価で利用載ける様PRをし、又会員の業容充実を計るべく、価格競争の歯止めを目的として昭和61年2月より各ユーザーに配布する様会員の方々に協会よりお願い致しております。

価格表と平行して、正価をご利用願える様、P

Rポスターを作成し各会員の店内標示用として配布、ユーザーに対して訴えて行く方針で実施致しております。

昭和61年新春講演会

日時 昭和61年1月23日 午後1時30分
場所 前橋商工会議所 梅の間

演題 「これからの公共事業の見通しと、県の建設産業」

講師として社団法人群馬県建設業協会
会長・池下久雄氏を迎えて講演会を開催

茨城県建設機械リース業協会

当茨城県南地区は学園都市開発、科学万博開催と国家予算工事がしばらく続いていた関係で大手リース業者の殆どが営業所を開設して居り、大手ゼネコンとの年間契約等でリース料金は県南地区だけに限った場合は全国一低価格の様に思われます。これから不需用期に向い更にダンピング競争が激しくなる事が予想されます。先日定例総会付議事項審議の為の理事会の席上でも此の問題がとりあげられ適正料金セットが緊急要務であり、相互に信頼し固い団結の下その価格を守り泥試合を避けて、自助努力により企業の安全経営を図ろうと言う意見が固まり、5月開催予定の定例総会迄に準備を完了し固い団結で価格を保持する様申し合せする事になりました。これは当茨城県建設

機械リース業協会の設立当初からの課題でありましたが、3年目でやっと親睦団体のぬるま湯に落ちていた当協会も仕事の出来る協会に一歩前進しようとしています。全建リース協の目玉商品とも言える構造改善事業に対する理解も深め遅きに失する感はありますが、来るべき登録制度実施の時は全会員がこぞって登録会員となれる様、企業の基盤整備をし、共に祝杯を上げられる様微力を傾注したいと考えています。

〔茨城県建設機械リース業協会事務局〕

大阪建設機械リース協同組合

新年祝賀会

大阪建設機械リース協同組合（理事長佐川重徳氏）は、1月14日午後3時から大阪市南区のホテルコーホーで新年祝賀会を盛大に開催した。

同祝賀会は組合員、賛助会員各社から約120名が出席して開かれ、佐川理事長が「本年も経済情勢は厳しいものがあるが、幸い関西新空港をはじめ明石大橋等の大型プロジェクトが動き出すなど明るい材料もあり、こうした中で各位のさらに企業精進を期待したい」旨の年頭の挨拶を述べた。

なお当日は経済評論家の今堀努氏による「昭和61年の日本経済について」と題する講演会も併せて開かれた。

ボーリング大会

大阪建設機械リース協同組合は、3月8日午後6時30分から大阪市浪速区のボウル国際で「組合員社員ボーリング大会」を開催した。

同大会は、組合厚生事業の一環として毎年開催しているもので、今回は組合員各社から男女合わせて約45名が参加。日頃きたえた腕を競い、ゲームを楽しんだ。

上位成績者はつぎのとおり。（二ゲームトータル）（敬称略）

- ▽優勝 岡本隆樹（ユナイトリース 366）
- ▽2位 牧野栄治（中央機材リース 363）
- ▽3位 岡田信男（ドーナカンパニー 337）
- ▽4位 藤本 勲（藤本商店 330）
- ▽5位 佐川正文（秋田商店 323）

安全講習会

大阪建設機械リース協同組合は、3月26日、組合事務所で、構造改善事業における労働安全衛生教育の一環として、仮設機材委員会（委員長・長井三佐夫氏）の担当により「災害と建設機械について」をテーマに講習会を開催した。

講師は労働安全コンサルタントの中村信夫氏で、当日は組合員各社から25名が出席し、熱心に受講した。



●表紙写真について

ニュージーランドよりの一行と「三定」で会食の後、すぐ横の浅草雷門で記念撮影、合憎雨にたたられ、サミットの準備の交通規制もあって、芝パークホテル迄の8軒にバスで2時間20分を要しました。

中国建設機械リース業協会

構造改善事業実態調査

当地方としては珍しく大雪のさ中、東京より調査員5名の方の御来訪を賜り、下記のように構造改善事業に関する実態調査を受けました。

- 1.月 日 昭和61年2月27日、28日、3月1日
- 2.調査員 建設省建設振興課 渡辺洋一氏
同 上 関根 誠氏
嘱託調査員 保坂益男氏
同 上 前川芳朗氏
全建リース協 木村春樹氏
- 3.調査地区 広島県福山市及び広島市
- 4.調査事業所
富野機工(株)本社工場 (福山市)
三共リース(株)福山営業所 (同 上)
水電リース(株)福山営業所 (同 上)
福山建機リース協同組合 (同 上)
(株)リョーキ出島工場 (広島市)
- 5.聴取調査参加者

野口誠輔（富野機工(株)社長、福山建機リース(協)理事長）
小田智丈（三共リース(株)専務）
渡辺広一（水電リース(株)社長）
山本高義（光立機工(株)社長、中国協会副会長）
宇都宮義憲（長浜産業(株)社長、広島部会長）
山地尉文（(株)リョーキ常務）
原田 宏（(株)リョーキ部長、出島工場長）
27日午後、御到着後直ちに野口会長の会社である富野機工(株)工場を視察（写真上）、次いで福山建機リース協同組合に至り、組合設備機械を視察。その後、同組合会議室に於て野口、渡辺、小

田の三氏より福山地区の構造改善事業の状況及び福山建機リース協同組合の運営の実情を聴取り調査された。その後、三共リース(株)福山営業所と水電リース(株)福山営業所を訪問、工場及び諸設備を視察されると共に、夫々の営業所長を交えて懇談・調査があり、同日夜は福山駅隣キャッスルホテルに宿泊された。翌28日朝、野口会長及び事務局三木が御迎えに上り同行して広島に到着、全日空ホテルの一室に於て山本、宇都宮両氏を加えて広島地区の状況につき聴取り調査があった。

次に(株)リョーキ出島工場（写真下）を訪問、工場及び諸施設の実態を視察した後同所会議室に於て同社を含めた広島地域会員企業の構造改善状況につき質疑応答の形で調査が行われた。午後5時頃すべてを終了し、堀川町芸州で一同会食懇談、同夜は広島市内に宿泊され3月1日帰京された。寒気の折、遠路を御来駕頂き関係者一同深く感謝致しております。



富野機工（株）視察



（株）リョーキ視察

←地区だより

中部建設機械リース業協会
愛知県建設機械リース業協同組合

- 第2回流通委員会
60年10月23日,出席9名,実勢価格調査の件
- 第1回空油圧部会
60年11月7日,出席8名,情報交換の件
- 第二次可搬形発電機整備技術講習会
60年11月11日,参加32名,大阪府中小企業文化会館
- 第3回理事会
60年11月20日,出席12名,中部地区大手参入対策の件,登録委任選任の件他
- 登録制度,構造改善調査票作成説明会
60年11月22日,出席37名
- 臨時理事会
61年1月13日,出席10名,登録制度について,協会支部人事体制について
- 構造改善推進委員会
61年1月13日,出席6名,コンピューター・ファクシミリ導入について
- 経営合理化講習会
61年1月16日,出席29名,コンピューター導入及安全問題について
- 新年会
61年1月16日,出席・会員43名,賛助会員23名
- 構造改善委員会
61年2月3日,出席8名,「構造改善調査表」のまとめ,賛助部会について,OA導入について
- 構造改善推進委員会OA研究会
61年3月3日,出席7名,「リース物品実績管

- 理表」について
- 構造改善推進委員会OA研究会
61年3月19日,出席4名
 - 総会,講習会,説明会,懇親会
61年5月14日,名古屋ターミナルホテル
 - 1.愛知県建設機械リース業協同組合
第2回通常総会,出席15名
 - 2.労働安全講習会,出席53名
労災事故防止対策と企業責任について・A I U
 - 3.厚生年金基金説明会,出席53名・明治生命
 - 4.中部建設機械リース業協会
第19回定期総会
出席62名,賛助会員25名,表彰,懇親会

19回定期総会中部建設機械リ-



第19回総会・坂井会長挨拶



表彰式

KOBELCO Yutani

SKO7-2
油圧ショベル

すべてが新しい。
人間尊重の先端マシン。



- ★最大掘削力10.7ton
- ★走行速度4.0km/h、けん引力14.7ton
- ★新・KPSSにより省エネをさらに推進。
- ★耐久性も一段とグレードアップ。
- ★室内容積を30%アップしたザ・ビッグストキャブ。
- ★豪華なクロス張りリクライニングシート。
- ★広範囲な微操作を可能にしたFCモード。
- ★120PS直噴ターボエンジン搭載。

新発売

■バケット容量=0.45~1.1m³ ■エンジン出力=120PS ■全重量=18.5ton

神戸製鋼 建設機械事業部
〒150 東京都渋谷区神宮前6-27-8 ☎(03)797-701

70

技術と信頼で70年。

高周波48V バイブレータ シリーズ

ゆたかな経験が結実する無類の高性能。



高周波トランジスタインバータ



高周波エンジン発電機

建築用取り付けバイブレータ

木組からキツツキへ、これまでたまたま作業に頼っていた壁・柱・梁などのコンクリート締め固めを合理化。

ダイヤモンド・ドリル シリーズ

コンクリート穿孔作業に差をつける高精度。

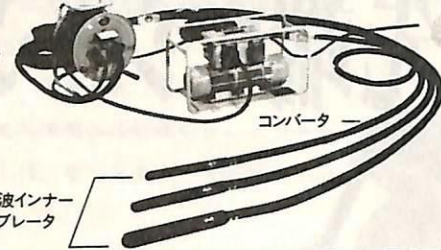


フレキシブルポンプ シリーズ

電源のない場所でもハイパワーを発揮。



コードリール



コンクリートカッタ シリーズ

安定した走行性で鋭い切れ味。



軽便バイブレータ シリーズ

機動性を追求した抜群の使いやすさ。

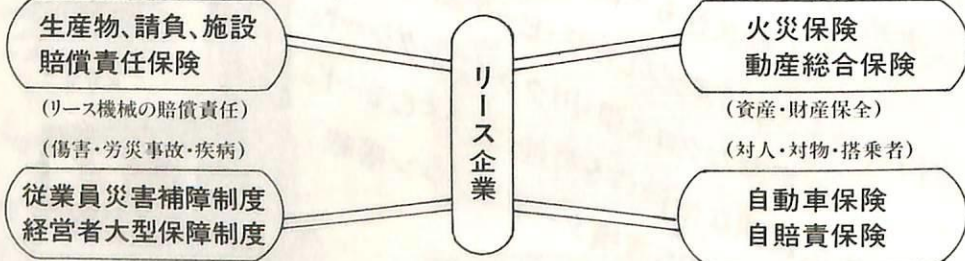


林バイブレータ株式会社

本社・東京支店 〒150 東京都港区浜松町1-17-13 ☎03(434)8451(代) 支店・営業所 大阪/札幌/仙台/新潟/北関東/横浜/名古屋/金沢/広島/高松/九州/鹿児島
工場 〒340 埼玉県草加市稲荷5-26-1 ☎0489(31)1111(代)

さまざまなリスク(危険)からリース企業をがっちりガードする……

{リース企業に必要な保険一覧}



まだ、ご存知ない会員の皆様も是非所属協会または下記へお問い合わせ下さい。

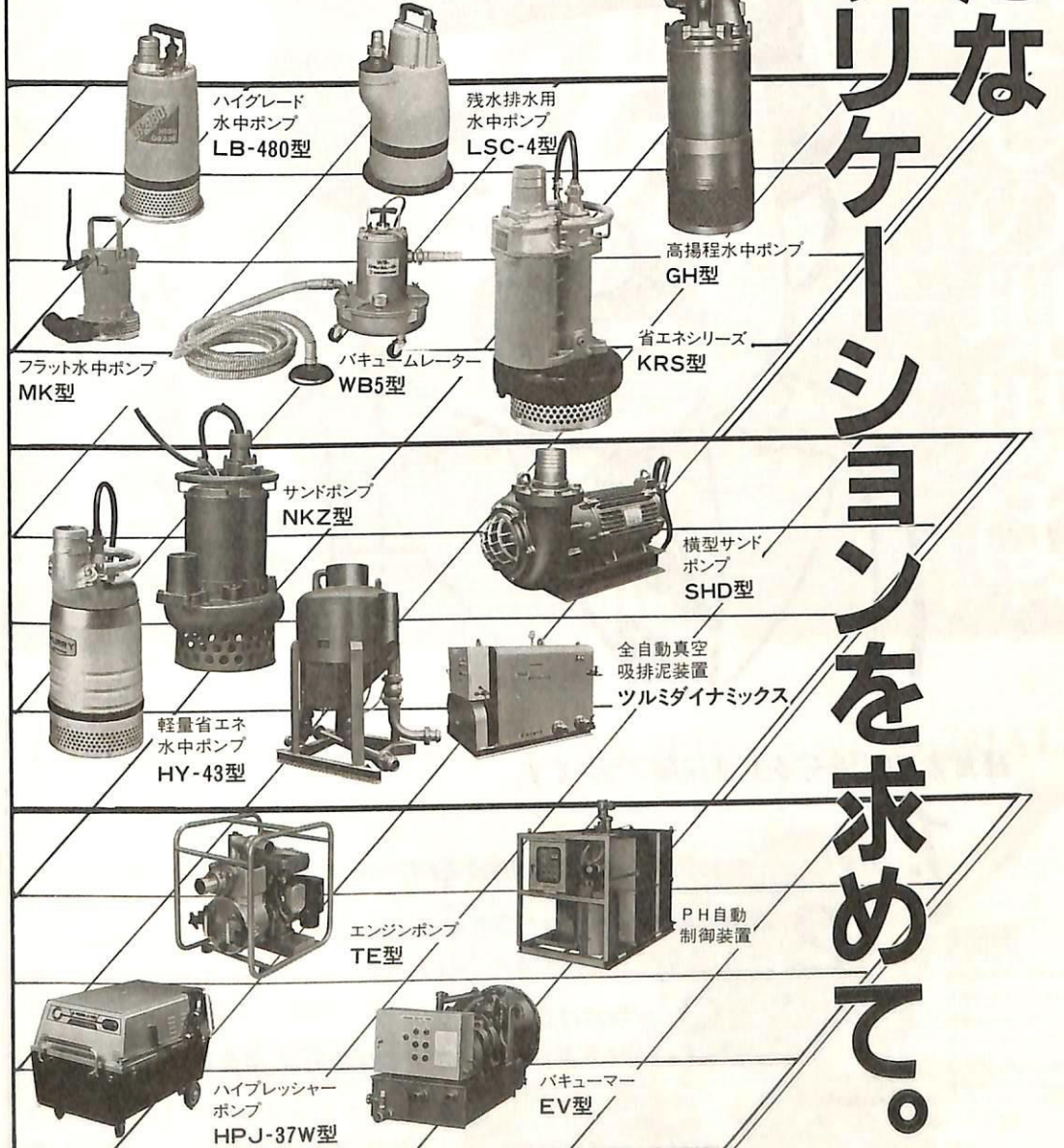


引受保険会社 **AIU 保険会社**
(エイアイユー インシュアランス カンパニー)
赤坂支店：東京都港区赤坂3-1-2
TEL 03-(583)-1121

取扱代理店 株式会社 **サンライ**
横浜：横浜市戸塚区品濃町539-6アーバン東戸塚6F
〒244 TEL045-821-7181
東京：東京都港区赤坂6-18-3アイビービル4F
〒107 TEL03-505-4955
大阪：大阪市北区角田町8-47(阪急グランドビル16F)
〒530 TEL06-316-1541

泥礫移送から吸引排泥、高揚程から残水吸引まで長く、低く、深く、高くと、幅広い製品群と実績を持つツルミでは、ユーザアプリケーションに対応できる機種やアクセサリを取揃えお待ちしております。

新たなアプリケーションを求めて。



ハイグレード水中ポンプ LB-480型
残水排水用水中ポンプ LSC-4型
高揚程水中ポンプ GH型
省エネシリーズ KRS型
パキュムレーター WB5型
フラット水中ポンプ MK型
サンドポンプ NKZ型
横型サンドポンプ SHD型
全自動真空吸排泥装置 ツルミダイナミクス
軽量省エネ水中ポンプ HY-43型
エンジンポンプ TE型
PH自動制御装置
ハイプレッシャーポンプ HPJ-37W型
パキュマー EV型

TSURUMI PUMP

株式会社 **鶴見製作所**
大阪本店 〒538 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
☎(06) 911-2355(代)
東京本社 〒110 東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル)
☎(03) 833-0331(代)

東京支店 〒110 東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル)
☎(03) 833-0331

前橋営業所 ☎(0272)21-8311	水戸出張所 ☎(0292)47-1400
宇都宮営業所 ☎(0286)25-3821	八王子出張所 ☎(0426)66-3878
大宮営業所 ☎(0486)44-5071	長野事務所 ☎(0262)26-0878
千葉営業所 ☎(0472)47-6931	長岡支店 ☎(0258)46-5050
横浜営業所 ☎(045)461-1721	上越出張所 ☎(0255)22-2141
長野営業所 ☎(0263)27-1831	新潟営業所 ☎(0252)45-2371

明治生命



かけがえのない肩だから。

経営者・役員を守る生涯保障プランです。

1. 大型保障で、働き盛りの経営者の信用を支えます。
2. 事業の発展に貢献された経営者・役員のための(生存)退職慰労金の準備ができます。
3. 保険料は会社経理で、しかも定期保険特約部分の保険料は、損金処理できます。

明治の経営者保険

ダイヤモンド保険 ニューライフ (定期保険特約付終身保険)

AI CHI

狭い。



わたしの現場は、

だから小型。しかも静かな“住宅地タイプ”、B-241S。
だからコンパクト。しかも前積が得意な“密集地タイプ”、B-241AL。

狭い日本に狭い街。都市土木工事の現場も、もちろん狭い。「ならば車両を小型化し、それ相応の機能を持たせよう」ということで登場したのがこの2台。B-241ALはアーム自動伸縮機構を採用。狭小地での前積作業が非常にラク。そしてB-241Sは低騒音パワーユニットを装備。住宅密集地で、とても静かな作業を行います。さらに双方とも「長時間作業」でも疲れにくいよう運転席まわりの形状を改良・工夫。大型点検扉を設置するなど、小型に似合わない機能の充実ぶり。いま、稼働率で選ぶならこの2台。日本全国の市街地、住宅地が職場です。

愛知車輛株式会社

B-241S

- 掘削深さ=4,000mm
- 掘削半径=6,200mm
- 掘削高さ=6,100mm
- ダンプ高さ=4,250mm
- 前積距離=2,300mm
- 騒音レベル=55dB/30m
- 架装シャシ=2.5tonクラス

同時新発売

B-241AL

- 掘削深さ=4,850mm
- 掘削半径=7,000mm
- 掘削高さ=6,600mm
- ダンプ高さ=4,750mm
- 前積距離=3,200mm
- 架装シャシ=2.5tonクラス



アイチ ホッダー シリーズ

東京支店 ☎03(862)4121代・名古屋支店 ☎052(621)5112代・大阪支店 ☎06(968)7731代・営業本部 ☎0487(81)1111代・愛知車輛北海道販売 ☎011(665)1301代・愛知車輛東北販売 ☎0222(36)0421代・愛知車輛北越販売 ☎0764(34)2181代・愛知車輛中国販売 ☎082(285)0201代・愛知車輛四国販売 ☎0878(74)0808代・愛知車輛九州販売 ☎092(935)5353代

〈特許・実用新案出願中〉

新しいポテンシャル スマートなスタイリング 高性能、マカダムローラ・ニューR2シリーズ

全輪油圧駆動、アーティキュレートタイプのマカダムローラを最初に手がけたSAKAI[®]が、その永年の経験と豊富なデータに基づき、新たに開発したニューR2シリーズ。二速可変形のホイールモーターの採用など、多くの新技術を導入し、作業の安全性、効率性、汎用性などを実現しています。

新発売



型式は、車体重量9,600kgのR2s・車体重量10,600kgのR2H・チルトイングロール(フロントロール) 装備のR2T・リヤ2分割ロールのR2Nの4バリエーションがあります。
フロント・リヤロールとも等径、等駆動でベースから表層まで平滑均一に仕上がります。

1. 型式および重量

	車体重量	総重量
R2s	9,600kg	11,600kg
R2H	10,600kg	12,600kg
R2T(受注生産)	10,600kg	12,600kg
R2N(受注生産)	10,600kg	12,600kg

2. 転圧巾 2,100%。前後輪のオーバーラップ量 50%

3. 車速 Low 0~7.5km/h。 High 0~15km/h

4. 登坂能力 18°

5. 搭載エンジン 日野W04D ディーゼルエンジン
エンジン出力 66ps (燃費 164g/ps)

6. 燃料タンク容量 120ℓ

7. 散水タンク容量 600ℓ

酒井重工業株式会社

本社 東京都港区芝大門1-4-8 (浜松町清和ビル) ☎03(434)3401

札幌営業所 ☎011(241)8410 仙台営業所 ☎0222(31)0731 東京第1営業所 ☎03(431)9961

芝浦出張所 ☎03(452)8611 東京第2営業所 ☎0485(96)3336 名古屋営業所 ☎052(563)0651

大阪営業所 ☎06(364)2012 茨木出張所 ☎0726(25)1652 広島営業所 ☎082(227)1166

福岡営業所 ☎092(503)2971 H.M.Pチーム ☎0485(96)6591

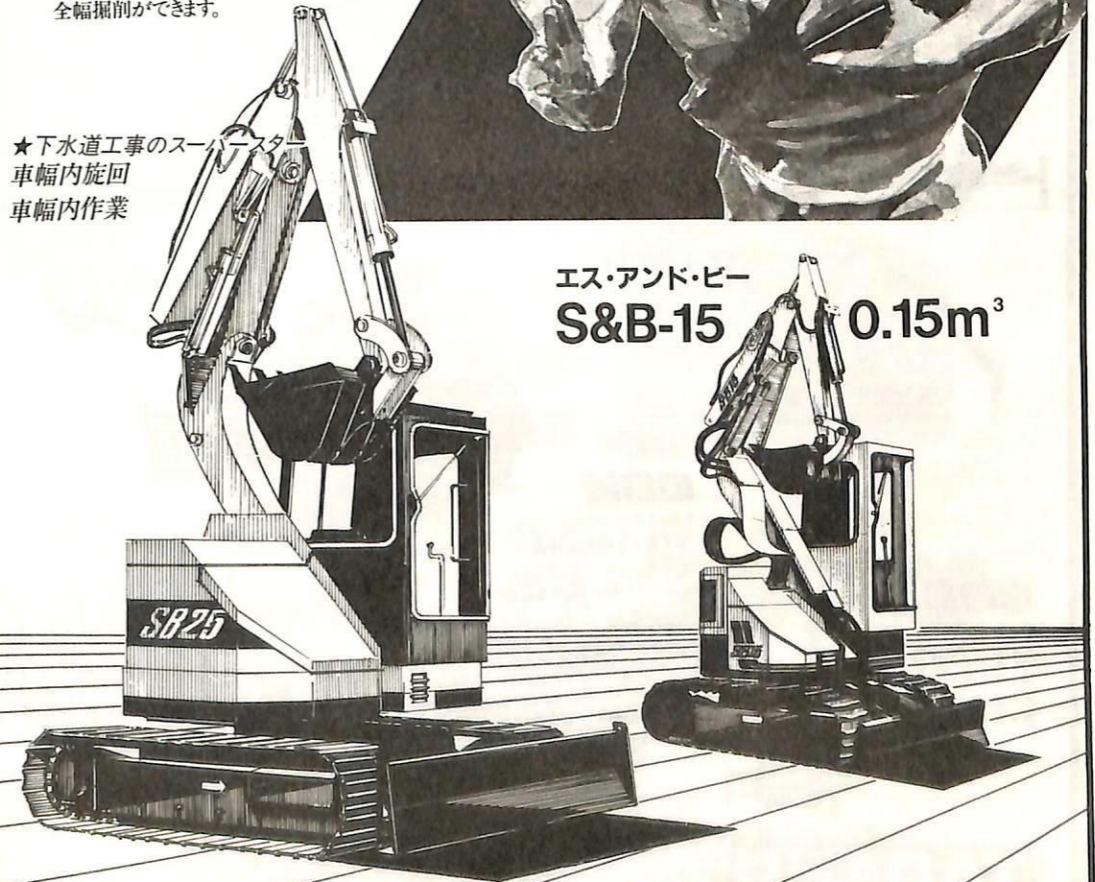
いずれも精強!! 猛者揃い

現場渴望のニューマシン。いま
センセーショナルに新登場

エス・アンド・ビー S&B-25/0.25m³

- クラス最大の掘削深さ、最小の旋回半径。
- 路地の下水道工事、片側車線内安全工事に最適。
- レバー操作方式をワンタッチでお好きな形に変えられます。
- 車幅内で掘削～旋回～積み込みができます。
- オフセット機構で、機体を旋回することなしに車体の全幅掘削ができます。

★下水道工事のスーパースター
車幅内旋回
車幅内作業



エス・アンド・ビー S&B-15 0.15m³

日産機材株式会社
TEL (0492)-58-1811(代表)

先進の油圧技術で、 多彩な産業分野の 効率化を進めるタダノ。

スカイボーイ
AT-230CG
バケット底面高さ 23.0m
4t車架装



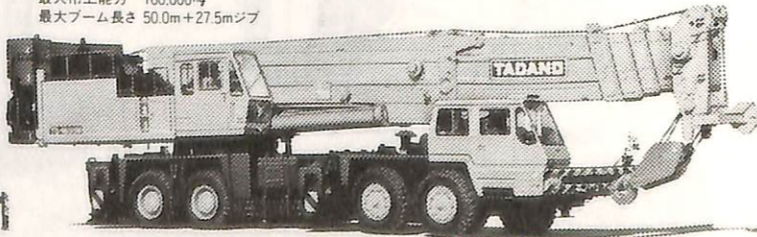
ミニクレーン
TM-50ZH
最大吊上能力 4,900kg
最大ブーム長さ 9.50m
10t-12t車架装



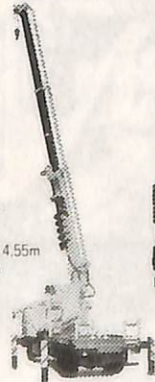
クワローダ
TF-750H
クレーン容量7t・m (2,980kg×2.35m)
4-12t車架装



新登場
トラッククレーン
TG-1600M
最大吊上能力 160,000kg
最大ブーム長さ 50.0m+27.5mジブ



新登場
ポールセッター
DT-700P
最大吊上能力 2,900kg×4.55m
最大掘削トルク 700kgf・m
最大掘削深さ 5.2m



昭和30年、国産初のトラッククレーンを開発したタダノ。
以来、豊富な経験と蓄積された技術により
タダノはつねに時代のニーズに応えた多種多彩な製品づくりに取り組んでいます。
そして、いまでは土木建設に欠くことのできない
大型トラッククレーンを始めラフターラインクレーン、ミニクレーン
高所作業に際立った威力を発揮するスカイボーイ、さらにセルフローダ、
バックホウなどを揃え、幅広い作業や用途にお応えします。
新時代、タダノは技術革新に対応しながら
最新技術を駆使した効率的な製品の開発を進めます。

新登場
ラフターラインクレーン
TR-400M
最大吊上能力 40,000kg
最大ブーム長さ 33.4m+13.0mジブ



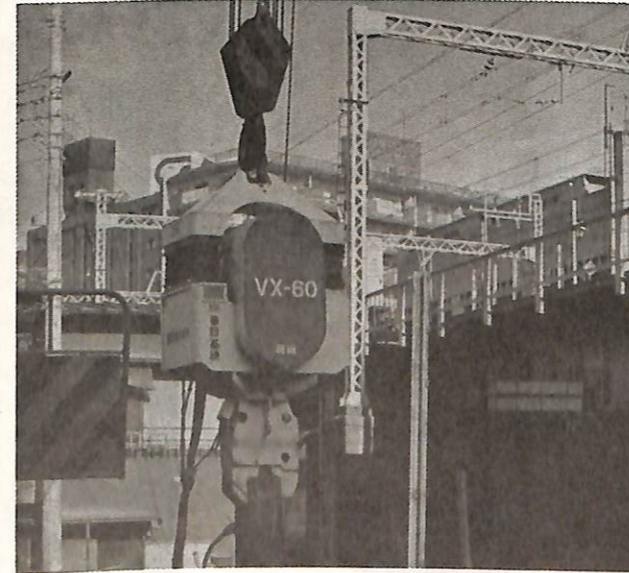
TADANO
株式会社 多田野鉄工所
営業本部 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル30F TEL.03(435)3611代表

お問い合わせ、お求めはお近くの当社支店・営業所までどうぞ。
北海道(札幌)1011(861)9030/帯広0155(25)6262/室蘭0143(44)0045/旭川0166(25)2817/東北(仙台)10222(57)4556
/盛岡0196(52)2248/青森0177(77)4231/秋田0188(62)0303/郡山0249(32)3513/関東(大宮)0486(41)3621/水戸02
92(24)1155/宇都宮0286(35)8555/千葉0472(42)2261/東京03(699)1441/多摩0423(65)0981/南関東(横浜)045(20
1)8771/静岡0542(82)2117/北陸(富山)0764(31)8427/新潟0252(45)7321/福井0776(53)2561/名古屋0586(76)1181
/松本0263(35)6131/大塚06(746)8731/京都075(681)0421/和歌山0734(53)7721/神戸078(928)9061/西国(高松)0
878(39)5777/高知0888(45)0073/岡山0899(43)5133/中国(広島)082(884)0255/岡山0862(23)9258/徳山0834(31)
1715/松江0852(24)7050/九州(福岡)092(41)9944/北九州093(531)2681/大分0975(32)6337/鹿児島0992(53)0008
/長崎0958(28)2766/宮崎0985(54)2843

— 可変型高周波杭打抜機 —

高能力・超低公害

VX シリーズ
40・60・80



“高能力・低公害・省力化”の一層の促進、
今、この限らないテーマに振動杭打抜機とし
ての一つの結論を提起します。
可変型の名の通り、押ボタンの操作ひとつ
で機械の動きを自在に調整。
地盤変化に即応するこの画期的な機構によ
り、パイプロを超える破格の性能と、LSVを
超える万全の振動・騒音対策効果を同時に達
成する驚異の新型杭打抜機……それが“VX”
シリーズです。

エンジン駆動式ウォータージェット
スラッシュジェット
SJ-75・125E



鋼矢板・H形鋼・鋼管矢板等 振動と水
既製鋼杭の打設システム **JV工法**

JV工法…地盤や杭の条件に合わせ振動杭打機とウォータージェットカッターの適切な組合
せにより、あらゆる既製杭を低公害・高能力・高能率で打込む施工法です。

最新のVXシリーズとSJEシリーズの組み合わせはJV工法の格段の進歩を実現します。

トーマン建機販売株式会社

東京本社 東京都品川区五反田2丁目28番11号(第5岩田ビル)
☎(03)492-8481

い ま、 最 先 端
ター



最小回転半径1m

YB551X【小旋回仕様】
 ●エンジン出力:立形4気筒38PSディーゼル
 ●標準バケット容量:0.15m³(ミニ表示0.25m³)
 ●最大掘削深さ:3.8m
 ●最大掘削力:3.3ton

新登場

大きく掘って『小旋回』

小さなターンで大きく稼ぐ。
 大容量・超小旋回・安全性
 どれをとっても一級品。車幅内旋回が可能の鮮やかな旋回性能とみなぎるハイパワーを見事に両立させたYB551X。これからの都市型土木のニーズに対応した最先端バックホー。リース業の目玉商品に最適です。
 ●大形ブレードの採用で排土作業は一段と向上。
 ●11トンタンクの積込みもラクラク。余裕のタンク高さ4.75m。
 ●土ごぼれの少ない全シリンダクッション付き。



ヤンマー
クローラ
バックホー

※カタログご希望の方は、本社・宣伝部まで。
ヤンマーディーゼル株式会社
 (本社)大阪市北区茶屋町1番32号 〒530 TEL(06)372-1111(代)
 (支社)東京・支店(札幌・仙台・名古屋・大阪・高松・広島・福岡)

その他ヤンマー小旋回バックホーシリーズ ————— YB101UZ(0.85m)YB151U(1.11m)YB201Z(1.35m)YB231Z(1.35m)YB251UZ(1.33m)YB281X(0.8m)YB301UZ(1.33m)YB351UZ(1.54m)YB401UZ(1.48m)YB451UZ(1.51m)YB501UZ(1.57m)YB601U(1.75m)など豊富な機種を取り揃えています。
 ※()内はフロント最小旋回半径を表しています。

協会支部名簿

(昭和61年5月現在)

社団法人 全国建設機械器具リース業協会 事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4階
 会長 坂井 照 TEL 03(293)7273~4 FAX03(293)7275

支部名称	代表者名	事務局長名	事務局所在地	電話	〒
北海道建設機械リース業協会	片桐 理	安達美代治	北海道札幌市中央区北4条東2-7-3 斎藤ビル2F	011 221-1485	060
青森県建設機械リース業協会	高橋弘一	小田桐勝雄	青森県青森市港町1-7-1 (株)高重組内	0177 41-6531	030
宮城県建設機械リース業協会	阿部喜平	高田 定雄	宮城県仙台市福室字高砂駅東17 青葉商工ビル3F	0222 59-0631	983
福島県建設機械器具リース業協会	菅野 剛	鈴木 英子	福島県郡山市富田町字向館121-20	0249 52-0588	963
茨城県建設機械リース業協会	染谷和良	河合 政彦	茨城県新治郡千代田村上稲吉2044 三委自動車(株)内	0298 31-1261	315
群馬県建設機械リース業協会	高屋浩志	坂本 勝利	群馬県前橋市小出町755-8 高栄リース(株)内	0272 33-0522	371
新東京建設機械リース業協会	小俣 實	関口正一郎	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03-294 4071~2	101
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	田口 政重	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町1-6-1 岩井ビル5F	045 322-0613	221
長野県建設機械リース業協会	原 幸男	清水 英明	長野県飯田市大門町26 (株)原鉄内	0265 24-9178	395
静岡県建設機械リース業協会	松井重雄	片桐 茂	静岡県浜松市上西町865 大興リース(株)内	0534 63-8821	435
静岡県重機建設業工業組合	近藤憲一	山川 安豊 (保坂益男)	静岡県静岡市新川2-1-40 新川ビル2F	0542 85-9231	421-01
中部建設機械リース業協会	坂井 照	津田 正哉	愛知県名古屋市西区藤ノ宮通り3-43 小出ビル内	052 571-2080	451
富山県建設機械リース業協会	高野義雄	小倉 秀信	富山県黒部市番掛567 吉田商会内	0765 54-1371	938
石川県建設機械リース業協会	吉川義孝	副田 正夫 (後本 暁男)	石川県金沢市長田本町子57-1 (株)ケンシン内	0762 64-1255	920
福井県建設機械リース業協同組合	水野健治	松川 秀次	福井県福井市問屋町2-45 (株)松田ビル3F	0776 21-9010	910
大阪建設機械リース協同組合	佐川重徳	野崎 雅子	大阪府大阪市浪速区桜川3-4-24 カベタニビル内	06 561-7405 561-7407	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	末田芳晴	小川 壮一	兵庫県神戸市中央区多聞通3-2-9 甲南スカイビル2F206号	078 361-2481	650
中国建設機械リース業協会	野口誠輔	三木 勢造	広島県福山市曙町3-200-2 富野機工(株)内	0849 53-9511	721
四国建設機械リース業協会	松井 貢	田中 萬一 明石 俊幸	香川県高松市春日町795 (株)田中铁工所内	0878 43-6140	761-01
九州建設機械器具リース業協会	深尾弘美	松 永 満	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124 西鉄(株)建機営業部内	092 651-1192	812

編集後記

サミットやら、ダイアナ妃フィーバーやそれにとりなり交通規制の大渋滞等々、国家的な行事も一段落して五月の爽やかな風と光が戻ってきました。協会でもこの4月にニュージーランドからのハイヤーサービス協会の一行を迎えてミーティング等を行いましたので、その概要をご紹介します。本号には、可搬形発電機講習制度の改訂、学識経験者、業界、中企庁等からご出席をいただいて開催した当業界の問題点の解決策の懇談会等が掲載されております。

又、地区便りは20協会の内、やっと5協会のみのご出稿で、どうぞ皆様方の活動の記録、提案等お寄せ下さるようお願いしております。

29日には東京・池之端の文化センターで総会が行われます。これからの1年間の新しい方向づけと出発の起点となりますが、会員の皆様のご健勝とお仕事のご隆盛を祈ります。

協会副会長・広報委員長
中村 憲

(9頁よりつゞき)

ミーティングの後会食をするので、ご承知願いたい旨報告があり同意した。

(4) 参考事項

21世紀への建設産業ビジョンの研究報告書について、2-2需要構造に見合った産業規模の形成の中の(業者数の方向)につい

事務局よりお知らせ

新事務局長に桑原重夫氏

5月1日より協会の事務局長として、大成建設(株)より出向の桑原重夫氏(写真)が入局されました。これまでも会員所属会社(建設機械産業(株))より当協会の可搬形発電機の件等について可発副委員長としてご協力いただいております。

「不馴れでありますので、今後共、会員の皆様のキタンのないご指導、ご援助を賜りたい」……ご本人の言葉です。



て、会長より抜粋の説明があった。

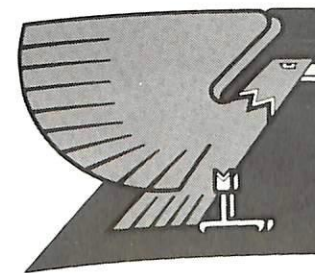
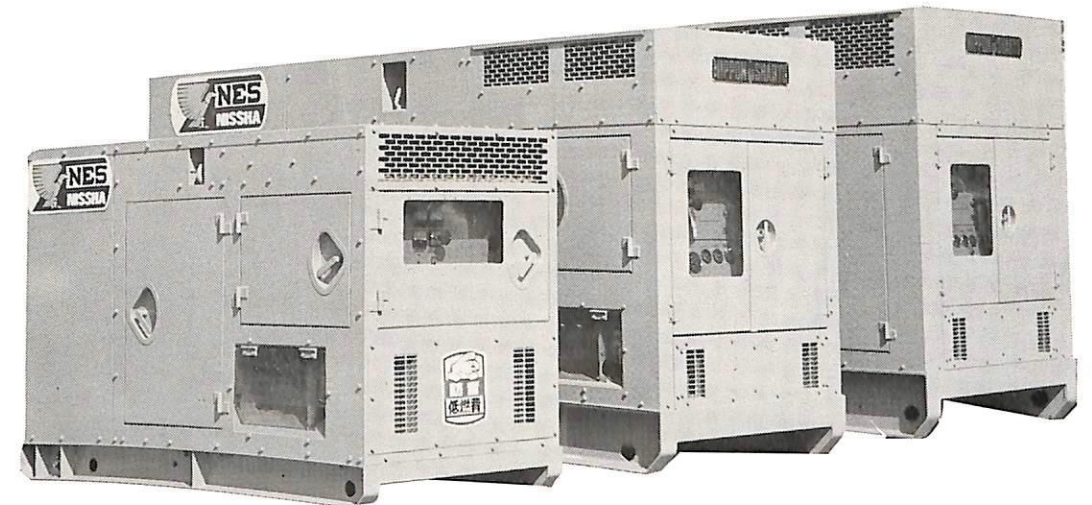
(5) 依頼事項

秋田県幹事会社より理事会にオブザーバーとして出席させて欲しいと依頼があったので検討願いたい旨発言があり了承した。

以上

会報 第26号

発行/昭和61年5月29日 発行者/(社)全国建設機械器具リース業協会
東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4
発行責任者/広報委員長 中村 憲
制作/ノダ企画・東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル(〒113) TEL03(832)6473



NESシリーズ ディーゼル発電機

オプション/防音型・標準型

全自動並列運転装置 シンクロト®



- 本体内部型、マイコン式、特別な並列運転盤を必要としないで同期投入、負荷分担が自動で
- 発電機の容量を問わない
- 発電機間の信号線不要
- 耐環境性抜群
- 逆電力保護機能付

自動始動装置



- 発電セットに内蔵され、特別な自動始動盤は不要なし
- 故障表示灯もコントロール盤面に簡単に取り付けられ、異常項目を表示

スローダウン装置<リモコン付>



- 無駄な燃料を、スローダウン装置は約20~30%カット
- ディーゼル発電機の遠隔操作、例えばクレーンの運転席から発電機の始動・停止・スローダウンの操作が出来る

モニター装置



- 運転前・運転中の不具合のチェック
- リース機などの出荷点検の簡便化
- 致命的なエンジントラブルの未然防止
- 最適状態でのディーゼル発電機の使用
- 漏電保護装置(オプション)と合わせて使用すればさらに安全性が増す

日車総代理店



にちゅう
日熊工機株式会社

建設機械部/名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 〒460 電話(052)261-8356
建設機械部東京営業所/東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル 〒104 電話(03)552-9551

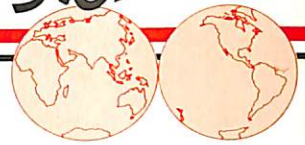
札幌 釧路 青森 秋田 盛岡 仙台 新潟 金沢 名古屋 大阪 岡山
広島 高知 福岡 鹿児島

確かな技術で世界をむすぶ



エアマン

の建設機械



LESS FUEL & MORE SAFETY

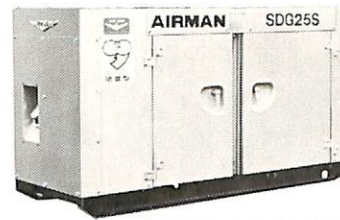
より優れた環境づくりを目指し
豊富な経験と確かな新しい技術で
省エネ、騒音対策、高効率などを
お届けします。



■ スクリューコンプレッサ
PDS125S



■ スクリューコンプレッサ
SMS75S



■ ブラシレス発電機
SDG25S



■ エンジン溶接機
PDW280SC II
(二人同時溶接)



■ ミニバックホー
HM10S



■ ホーマック振動ローラ
BW121AC



■ 油圧ブレーカ
RM1Z

★主要製品 ● スクリューコンプレッサ ● ローターコンプレッサ ● エンジン発電機 ● エンジン溶接機
● ミニバックホー ● 振動ローラ ● ランマー ● プレート ● 油圧ブレーカ



北越工業株式会社

- 東京本社・支店 / 東京都新宿区西新宿1 22 2 新宿サンエービル 〒160 ☎(03)348 8561
- 大阪 支店 / 大阪府摂津市新在家2 32 13 〒564 ☎(06)349 3631
- 営業所 / 札幌・旭川・盛岡・仙台・新潟・郡山・宇都宮・高崎・松本・千葉・横浜・静岡・富山・金沢・名古屋・津・京都・奈良・和歌山・神戸・岡山・松江・広島・山口・高松・高知・松山・福岡・大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・那覇